

## 小学生連盟発足にあたって

福島県ソフトテニス連盟  
会長 志田 光夫  
前理事長 川島 登

現在の、本県の小学生の組織形態は、県連盟指導の下、委員会として活動しており、29団体、692名の会員数は、全国6番目の規模になっております。指導者を含めると、816名を有する大きな組織になりました。これも一重に指導者の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

しかし、今の委員会形態で役員が兼務をしている状態では、現在の組織規模が限界かと思われまます。現に、登録人数は、平成17年の727名をピークに、その後は減少または横ばい傾向にあります。この小学生組織を今後さらに発展、強化するためには小学生連盟として独立し、専任する役員を配置することが最良かと思われまます。

3年前に連盟発足準備をすすめようとしたましたが、専任役員が定まらず現在に至っておりました。

震災後丸7年が過ぎ、かつては日本一の選手や現在全国で活躍している選手を数多く育成し排出してきた双葉地区が、少しずつ復活の兆しを見せ「はまともジュニア」が活動を始めたことは、素晴らしいことでもあります。この機にさらに小学生全体をステップアップしていきたいと思ひます。

小学生連盟発足のもう一つの理由は、県連盟内の業務の分担です。

現在は、すべての業務が県連盟事務局に集中しておりますが、平成30年度は事務局体制が大きく変わる予定です。一点集中を避け業務を分担することにより、事務局負担を軽減する必要があります。

以上の理由により小学連盟を発足し、係わるすべての皆様とともに、日本一のマナーと、日本一の会員数を誇る、日本一強固な組織を創り上げて行きたいと思ひます。

関係の皆様の大げなご協力をお願いいたします。